

令和7年7月11日から令和7年10月8日までの出来事を掲載しました。



上の写真は、令和7年5月4日～6日に弘前市りんご公園で開催された弘前りんご花まつりの様子です。  
 今年は青森県にりんごが植えられてから150周年の記念すべき節目の年「青森りんご植栽150周年」です。  
 青森りんごを盛り上げるため、弘前りんご花まつりもタイアップ企画の一つとして実施されました。（市りんご課提供）

## 議 会 ト ピ ッ ク ス

### 鳥獣被害防止対策の強化を求める要望書を市へ提出しました



櫻田市長へ要望書を手渡しました

10月2日（木）本会議終了後、尾崎 寿一議長、工藤光志副議長及び各会派の代表者5名（蒔苗 博英議員、坂本 崇議員、竹内 博之議員、千葉 浩規議員、佐藤 哲議員）が、櫻田 宏市長へ鳥獣被害防止対策の強化を求める要望書を提出しました。近年、鳥獣による農作物や生活環境への影響が増大していることから、予防的かつ早急な対策が必要と考え、令和8年度において鳥獣被害防止対策に必要な予算を十分に確保し、実効性のある施策を講じるよう市に対し要望しました。

### 青森県市議会議員研修会が開催されました

10月8日（水）に青森県市議会議長会主催による青森県市議会議員研修会がフォルトーナで開催され、県内10市から約160名の市議会議員が参加し、当市議会から24名が参加しました。

研修会では「この街で夢をかなえる～地方活性化アイドル達の挑戦」と題して、有限会社リンゴミュージック 代表取締役 樋川 新一氏による講演が行われ、終了後には建設中の樋の口浄水場、弘前市りんご公園を視察し、意見交換会も実施されました。



研修会の様子



## 令和7年第3回定例会

## 市長提出議案 24件

【会期：令和7年8月29日(金)～10月2日(木)】

## ●令和7年度弘前市一般会計補正予算(第5号)

クマ被害への緊急対策として、クマ捕獲用箱わな緊急購入事業費補助金を計上するものです。

補正額 400万円

## ●令和7年度弘前市一般会計補正予算(第6号)

はるか夢球場改修事業などに係る経費を計上するほか、宿泊税を活用した冬季間の誘客及び宿泊促進を図るためのイベント開催等に要する経費などを追加するものです。

また、繰越明許費、債務負担行為及び地方債について所要の補正をするものです。補正額 10億8355万4千円

## ●令和7年度弘前市一般会計補正予算(第7号)

従業員の賃上げを行う市内中小企業等に対し奨励金を交付するための経費を計上するほか、不具合が生じている斎場の自家用発電設備の臨時対応に要する経費を追加するものです。

また、繰越明許費について所要の補正をするものです。

補正額 1億1493万8千円

## 9月補正後の令和7年度予算

一般会計 898億1666万1千円

(9月補正額 12億249万2千円)

特別会計 420億8228万8千円

(9月補正額 12億8628万5千円)

## 条例の改正 2件

## ○弘前市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例案

家庭系廃棄物の収集場所廃棄物を持ち去る行為を規制するために罰則を設けるなど、所要の改正をしようとするものです。

## ■制限対象

行政回収している全てのごみ

## ■罰則を設ける理由

罰則がなければ条例違反行為が繰り返されることが懸念されるため、持ち去り行為を抑止するために罰則を設けるもの。

※令和7年11月1日から適用。



&lt;運用及び罰則&gt; 以下の順序で運用

◆市民からの通報等  
→行為者特定

◆警告に従わない

◆命令違反の繰り返し

①口頭による  
警告②命令書  
発出③20万円以下の  
罰金

## 令和6年度決算審査

令和7年第3回定例会中に行われた予算決算常任委員会では、令和6年度弘前市一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の各決算等について審査しました。

## 一般会計 決算額

歳入額 916億 211万4769円

歳出額 905億6217万9438円

繰越額 10億3993万5331円

## 一般会計歳入歳出決算に対する討論

反対・賛成それぞれの立場の要旨を掲載します。

## ○反対の要旨 以下の理由で反対する。

- 自治体の20業務を国が決めた仕様に統一する自治体情報システムの標準化は、住民サービスの後退や将来的に財政を圧迫する懸念がある
- 宿泊者にとって新たな税負担となり、宿泊事業者に対しては過大な負担を強いることになる宿泊税導入には反対である
- 市民の個人情報保護対策が極めて脆弱である

## ○賛成の要旨 以下の理由で賛成する。

- 昨冬の豪雪の影響を受けた市民生活と命を守るため、除排雪経費の追加やりんご園地の雪害防止対策など、的確な判断のもと全力で取り組んでいた
- 実質公債費比率と将来負担比率はいずれも早期健全化基準を大きく下回り、良好な比率を維持している
- 予算の執行は財政の健全性に留意し、市民サービスの維持向上を図るため、効率的に行われていた

## 人事案件 1件

## ○人権擁護委員候補者の推薦について(3名)

おおたき つぎ お 大滝 次雄 氏(再任)、  
おおたか よしあき 高 義昭 氏(再任)、  
むらかみ なおひろ 村上 直弘 氏(新任)

## 陳情 3件

※陳情書は議員に参考配付しました。

○「高額療養費の自己負担引き上げの撤回を求める意見書」の提出を求める陳情書

○弘南バス路線等に関する陳情書

○令和8年度私立幼稚園助成に関する陳情書

## 議員発議 1件

## 意見書

○西十和田トンネル(仮称)の早期建設について

## 一般質問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。( )は所属会派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。

※QRコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。



志村 洋子  
(創和・公明)



## プラスチック資源の分別について

**問** 具体的な分別方法及び排出方法について問う。

**答** 新たにプラスチック資源の区分を設け、プラスチック素材のみでできているものは汚れを落としてもらい、また、従前は大型ごみに分類されるプラスチック製の衣装ケースや浴槽の蓋など一部の品目に限っては、プラスチック資源として分別することとなる。収集については、

週1回を予定しており、ごみを出す際には収集作業員が瞬時に識別できるよう無色透明な袋で排出してもらうことを検討している。従来のごみの分け方から細分化するため、何よりも市民の皆様に分方法や排出方法を知っていただくことが重要と捉えている。

〈その他の質問項目〉○道路環境整備事業について ○城北公園交通広場の再整備事業について



松橋 武史  
(櫻 鳴 会)



## ウォーターPPPの導入について

**問** 導入を想定している「管理・更新一体マネジメント方式レベル3.5更新支援型」の選定理由について伺う。

**答** 市では、既存施設の状態把握を民間技術の活用により加速化し、その結果に基づく効率的な更新計画の策定に重点的に取り組むことが可能なレベル3.5更新支援型が、課題解消に最も適した手法であると判断した。

## 公共施設の貸館業務等について

**問** 市長部局所管の3分の2以上の施設は、市民が利用しやすい貸し方ができていない。問題解決には、1時間単位貸しの導入が必要だと考えるが、市の見解は。

**答** 現状は各施設で貸館の形態が異なっており、市民にとって分かりづらく利用しにくい面もあると考えられるため、各施設の特性などもあるが、市民が利用しやすい形態に改善していきたい。



野村 太郎  
(無所属 (東雲))



## 熊被害への対策について

**問** 取組の現状について伺う。

**答** 市では、熊被害対策の強化を図ることとし、熊捕獲わなの購入補助金を新たに創設するとともに、市の捕獲わなの追加購入や侵入防止柵整備事業の補助率の引上げ、ハンターへの熊捕獲報奨金や市からの要請に基づき出動した際の手当の増額、児童生徒の安全のため、全ての市立小中学校に熊撃退スプレーの配備を

行っている。また、対策に当たる市職員を1名増員したほか、農林部以外の市職員も外勤する際にパトロールを行うなど、全庁を挙げて対応を進めているところである。市は、今回の熊出没状況等に対し、災害時のような対応が必要と捉えており、生産者、ハンター、警察、消防、農協等の地域が一体となり、熊による被害防止対策を迅速かつ効果的に進めていく。

〈その他の質問項目〉○弘南鉄道



蛸名 正樹  
(創和・公明)



## 今冬の雪対策について

**問** 農道除雪の改善策について伺う。

**答** 今冬から、生産者目線に立った新たな対策を行うこととし、例年1月下旬に行う幹線農道除雪の業務委託契約を12月中に行い、急な大雪にも速やかに対応できる体制を整備する。幹線農道除雪について3月中旬に完了することを目指し、除雪作業に遅れが生じることが見込まれる場合には、除雪業者が市直営路線の一

部を除雪し、生産者が計画的に作業に入れるように対応していく。りんご生産者が自ら行う農道除雪については、除雪距離に応じて支給する新たな報奨金制度により体制を強化するほか、「農道除雪窓口」を農村整備課内に設置し、生産者へのサービス向上に取り組んでいく。

〈その他の質問項目〉○当市における「動物愛護管理法」に基づいた保護猫・野良猫の支援策 ○宿泊税の使い方

一般質問の写真は、過去に撮影した写真も含めて使用しています。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

弘前市議会ホームページ <https://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報はこちらでご覧いただけます。

弘前市議会 インターネット中継

検索

弘前市議会 会議録

検索







樋川 篤子  
(弘前さくら未来)



### 教育行政について

**問** 学校の施設開放について伺う。

**答** 児童生徒等の安全な遊び場の確保や、市民のスポーツ活動の普及振興を図るため、スポーツ少年団や地域住民等に、体育館やグラウンド等の学校施設を開放する学校施設開放事業を実施しており、市民の健康増進と地域の交流活動が促進されるよう、本事業の推進に努めていく。

### 身寄りのない単身者等への支援について

**問** 終活支援の在り方に係る市の方針は。

**答** 身元保証や入院、入所に係る手続等は日常的に本人に関わるケアマネジャー等が対応に苦慮しつつ善意で代行しているのが実情。安心して終活支援サービスを利用できる体制の確立が必要と考え、今年度、市社会福祉協議会に委託し、福祉分野の相談支援や市内民間事業者と連携したサービスの提供ができるよう包括的な相談・調整窓口の整備を進めている。



工藤 裕介  
(弘前さくら未来)



### 星と森のロマンビアの今後について

**問** 施設存続に対する検討状況を伺う。

**答** 当該施設は、地域の方々や子育て世帯等が気軽に利用でき、社会教育や小中学校の修学旅行等に活用できる機能を有するなど、公益性等が高いと認識しているが、管理運営に相当の経費を要し、大規模改修も必要な状況。市では、近隣町会や地域関係者等と意見交換を行うとともに、仮に財団が施設運営困難となった

場合の活用方法を、国の補助金や地方債等の返還方法も踏まえ引き続き検討する。

### 今冬の除排雪計画について

**問** 昨冬を踏まえた雪対策について伺う。

**答** 「雪に関してどこの課に相談したらよいか分からない」との声が寄せられ、市では、問合せ窓口の一本化を検討中。市民、事業者、行政が一体となり効果的な雪対策の実現を目指し、市民が安心して冬を過ごせるよう全力で取り組む。



畑山 聡  
(創和・公明)



### 選挙における投票所の立会人について

**問** 選任方法と報酬額について問う。

**答** 投票立会人の選任方法は、各投票区内の町会長に適任者を推薦していただくこととしており、また、期日前投票所の立会人は、弘前市明るい選挙推進協議会の構成団体に推薦を依頼しているほか、若い世代への選挙啓発も兼ねて大学生を対象に希望者を公募し、選考のうえ決定している。投票立会人への報酬は、地方

自治法の規定に基づき市町村が支払うこととなるが、国会議員の選挙に関しては、国が負担することとされており、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律に定める基準額を参考に設定しており、報酬額は、本年6月の改定後の基準額と同額の1万2400円としている。

〈その他の質問項目〉○弘前市総合計画と第2期中心市街地活性化基本計画について



坂本 崇  
(奏望会)



### 史跡津軽氏城跡弘前城跡整備計画

**問** 進捗状況と次期計画について問う。

**答** 二の丸利活用施設として弘前城情報館が整備済みであり、緊急性の高い本丸石垣修理や老朽化に伴う橋梁整備が終盤に差しかかっているほか、重要文化財建造物9棟の保存修理や防災設備の更新を順次進めている。次期計画策定では、これまでの実績を踏まえた整備期間の設定や内容の見直しに加え、より精度の高い

整備計画とした上、整備の実現に努める。

### 弘前型ラーケーションの創設について

**問** ひろさき市学との連携を問う。

**答** ひろさき市学を保護者と取り組む弘前型ラーケーションとして位置づけることは、児童生徒の郷土理解を一層深め、学校での学びを日常生活等に結びつけられ、保護者も郷土の魅力を再発見できるなど、弘前ならではの取組として他の先行地域と一線を画すものになると考える。



成田 大介  
(弘前さくら未来)



### 学校外での地域活動について

**問** 位置づけや意義についてどのように考えているのか。トラブル等があった場合はどのような対応をしているのか伺う。

**答** 学校外における地域活動は、子供たちの生きる力を育む大切な取組の一つと認識しており、子供たちが地域と深く関わる貴重な機会となるだけでなく、豊かな人間性と社会性を育む場として重要と考える。現在、中学校の部活動改革が

段階的に進められており、地域クラブ活動や習い事等、部活動以外の場所で活動する子供たちが増えていると認識しているが、子供たち同士、保護者同士、あるいは指導者との関わりの中で、トラブルが発生する可能性があることも否定できない。教育委員会では、小学生や中学生に関わることは全て、教育センターの相談支援チームが相談窓口となり、電話や対面での相談を受け付けている。



竹浪 敦  
(創和・公明)



### 消防団活動について

**問** 活動におけるDX化について。

**答** 出勤報酬を支払うために必要な出勤報告書は活動終了後、主に分団長が活動内容等の実績を集計し、手書きで作成しており、点検結果報告等も紙ベースで作成の上、地区団長が取りまとめ、毎月防災課に持参していただいている。報告事務の効率化など団員の負担軽減については、検討が必要であると考えている。

### 学生視点の公共交通について

**問** 弘南バスに対する援助や運転手の担い手不足について伺う。

**答** 人口減少や少子高齢化が進行する中でも、学生をはじめとする交通弱者が安心して利用できる公共交通サービスを提供していくため、路線バスへの運行費補助を継続し、人材確保や利用促進に向け、様々な関係機関や市内の事業者等と連携し、各種施策に取り組んでいく。



木村 隆洋  
(創和・公明)



### サッカーJリーグのキャンプ誘致

**問** 第2回定例会からの約3か月における、誘致に向けた市の取組を伺う。

**答** 6月と7月に県が実施したJリーグクラブキャンプ誘致視察ツアーに同行し、8月は民間団体と共に新潟県のチームを訪問し、誘致に向けた意見交換を実施。これらを通じJリーグチームと直接会話をすることで、各チームがキャンプ実施に当たり重要視している環境を改めて把

握できた。キャンプの実施により、参加者や観客による宿泊や飲食等で市の経済循環が促進され、期間中のサッカー教室開催を通じた地域交流の促進、市内クラブチームとのトレーニングマッチ開催による競技力の向上等、様々な効果が見込まれる。また、一流のプレーを間近で見るといった経験が、子供たちへのよい刺激になると考えており、当市に興味を持っているチームへ積極的に働きかけていく。



三浦 行  
(日本共産党)



### 多文化共生社会について

**問** 市の取組は。

**答** 市では、弘前市総合計画や弘前市男女共同参画プラン2023に基づき、国際交流を推進し、互いに文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら共に暮らしていく、多文化共生社会の実現に向けた各種取組を着実に進めていく。

### 当市の中小企業支援について

**問** 賃上げ支援の取組は。

**答** 従業員の生活水準の維持・向上と人材定着を図るため、賃金・所得の増加に積極的に取り組んでいる中小企業等をしっかりと支援する必要があるものと判断し、市独自の支援に関する補正予算を今定例会一般質問最終日に追加提出する予定であり、今後も市内企業の経営と雇用環境の安定化に向けた取組を推進する。  
〈その他の質問項目〉○子供版「はじめての防衛白書」について



竹内 博之  
(弘前さくら未来)



### 令和6年度決算から読み解く今後の財政について

**問** 当市の財政の現状は。

**答** 物価高騰や人件費上昇などの社会情勢が当市の財政運営にも大きな影響を与えている中で、令和6年度は観測史上最大の積雪深を記録した豪雪と重なり、難しい財政運営を強いられた年であった。一般会計の基金残高は、令和5年度決算と比較し約22億円の減少となった。

### 子供たちの笑顔と学びの場をつなぐ、弥生こいの広場の今後について

**問** 整備方針の見通しは。

**答** 平成27年度に弥生こいの広場再整備基本計画を策定し改修を検討してきたが、整備に必要な財源の確保や運営収支改善のめどが立たず整備に至っていない。  
〈その他の質問項目〉

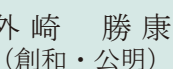
○選ばれるまち弘前に向けて、視察受入先としての政策価値の検証について

## 令和7年第3回定例会日程 (35日間) ○傍聴者の数：43人

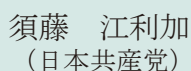
8月29日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	9月18日(木)～9月23日(火)	議事整理
8月30日(土)～9月8日(月)	提案熟考	9月24日(水)～9月26日(金)	予算決算
9月9日(火)～9月11日(木)		常任委員会	予算決算
本会議	一般質問	9月29日(月) 常任委員会	議会改革
9月12日(金) 本会議	一般質問、議案付託	9月30日(火) 特別委員会	議事整理
9月17日(水) 常任委員会	厚生、経済文教、建設、総務	9月30日(火)～10月1日(水)	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
		10月2日(木) 本会議	



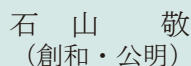




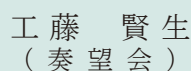
**答** TKB48の取組を関係機関等と連携して進めることで、被災者が安心して滞



**答** 市内に開院されている診療所数は、県の医務関係施設名簿によると、毎年4月1日時点で、令和5年が158施設、令和6年が157施設、令和7年が154施設で、減少傾向。新規開院及び閉院の内訳は、令和5年度中が新規開院2施設に対し、閉院が3施設、令和6年度中は新規開院2施設、閉院5施設と、閉院数が上回り、



**答** 速報値で主食用米が2,896ヘクタール、大豆が472ヘクタールでともに前年



## プールの現状と今後について

〈その他の質問項目〉〇一人も取り残さない新たな英語学習について

○スクールバスの活用と通学環境の改善  
○小中学校の熱中症対策 ○小中学校における発達障がい児童への支援

**答** 国の支援事業に必要な被害証明書の申請には、被害状況が分かる写真が必要だが、伐採済み等の理由で準備できない場合には生産者立会いのもと、職員が現地で確認するなど、柔軟に対応している。

**答** プールは、市が目指す健康都市弘前の実現のために有効な施設であり、整備に当たっては、既存プールの老朽度や利用状況などを踏まえつつ、通年利用や熱中症対策などにも配慮し、子供から高齢者まで利用しやすいものにするとともに、国の補助など有利な財源の活用や民間施設の活用など、あらゆる可能性を研究し、市全体のプールの在り方を検討する。

議案は、○は賛成、●は反対。－は採決に加わらなかったもの。  
※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

[illegible]



佐藤 哲  
(櫻鳴会)



### 工業団地造成について

**問** 今後の団地造成の進め方を問う。

**答** 産業用地の整備は、雇用の維持・創出及び税收増加など、地域経済の活性化に寄与する重要な取組である。企業の設備投資が活発化し、当市でも企業からの土地需要の相談が増えており、今年度から整備に向けた取組を開始した。4月には産業用地整備推進室を設置、6月には経済産業省の採択を受け、一般財団法人

日本立地センターへ調査を業務委託した。整備面積の規模については、国支援の活用も視野に入れ、企業が求める土地利用面積も踏まえ検討する。企業誘致の活動は、整備事業と並行し着実に進める。

〈その他の質問項目〉○参院選青森選挙区における勢力逆転の政治状況下にある櫻田市長の今後の政治姿勢について  
○奥羽本線青森・弘前間の度重なる冬期間の運休解消対応策について



齋藤 豪  
(奏望会)



### 人口減少対策について

**問** 市はどのようなプランで取り組んできたのか。今後の方向性についても伺う。

**答** 減少スピードの緩和を目指すという考えのもと取り組んできており、今後もその考え方を継続しつつ、少子化対策や移住者増加に向けた様々な取組や、当市で現在暮らす方に、将来も住み続けたいと思ってもらえるまちづくりを行う必要がある。現在の市総合計画後期基本計画

では、健康都市弘前を市政の基軸に据え、「ひとの健康」「まちの健康」「みらいの健康」の3つのリーディングプロジェクトをはじめ、子育て、商工業、都市基盤、移住・交流等の各施策に分野横断的に取り組んでいる。後期基本計画に基づき、地域活力の振興など様々な取組にチャレンジし、市民との協働、国や県、圏域市町村との連携を通じ、将来にわたり持続可能なまちづくりを着実に進めていく。



石岡 千鶴子  
(無所属(りんごの会))



### 町会連合会と町会活動について

**問** 町会連合会と町会活動について伺う。

**答** 現在は市内312町会と小学校区ごとに26地区に分かれた地区町会連合会が組織されている。市町会連合会及び町会は、住民にとって快適で住みやすいまちづくりを目指して自主的に活動する住民組織で、地域社会で重要な役割を担っている。市では、地域と行政のつなぎ役を担うエリア担当職員を全町会に配置。町会から

の要望や意見等を市役所に届けやすくし、課題解決に向けた取組を進めている。

### 嶽温泉について

**問** 嶽温泉の現状について伺う。

**答** 現在は、数本ある源泉の組合せを調整するなどの工夫により、営業に支障のないまでに回復し、入浴、宿泊客も戻りつつあると伺っている。嶽温泉は今後も岩木山麓の観光拠点の一つとして重要な役割を担っていくものと期待している。



千葉 浩規  
(日本共産党)



### 生活保護行政について

**問** 最高裁判所は6月27日に、国が平成25年から3年間行ってきた生活保護基準引下げを違法と判断したが、当市の当該期間の減額規模を答えよ。自治体も「制度の執行者」として問われるべき事はないのか。今回の判決をどのように受け止めているのか答えよ。

**答** 生活保護受給世帯数と実人員の月平均は平成25年度が3,681世帯、4,556人。生

活扶助費の減額規模は、平成24年度と平成25年度から27年度までの各年度との差額を合計すると1億937万3623円となる。市としては、国の検討状況を注視し、方針が示された際には、対象となる方々への情報提供や相談支援を丁寧に行うとともに必要な事務を適切に実施する。

〈その他の質問項目〉○中心市街地活性化について ○弘南鉄道について(大鰐線の代替交通、地域観光魅力向上事業)

議長(尾崎寿一)は採決に加わっていません。

木村	千葉	野村	外崎	尾崎	蒔苗	松橋	石岡	三上	佐藤	工藤	清野	田中
隆洋	浩規	太郎	勝康	寿一	博英	武史	千鶴子	秋雄	哲	光志	一榮	元
○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○

### 令和7年第3回定例会審議結果

※議会での慎重審議により、可決、認定、同意となりました。

市長提出議案：24件

予算関係：7件、決算関係：6件、条例関係：2件、  
その他：9件

### 定例会一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。※緊急時、災害時には変更される場合もあり。



## 会派一般行政視察

### 櫻鳴会

7月23日(水)～24日(木)

①神奈川県三浦市

○ウォーターPPPについて



三浦市にて

### 無所属議員(東雲 野村 太郎)

7月23日(水)～24日(木)

①神奈川県三浦市

○ウォーターPPPについて



三浦市にて

### 奏望会

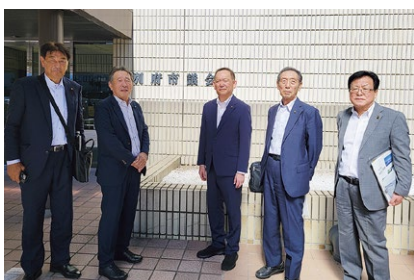
7月28日(月)～30日(水)

①大分県豊後高田市

○5年連続住みたい田舎ランキング1位の取組について

②大分県別府市

○ラーケーションの取組について



別府市にて

### 創和・公明

8月5日(火)～8日(金)

①兵庫県神戸市

○保護猫条例、殺処分取組について

②愛媛県今治市

○自転車を活用した観光の取組について

③愛媛県松山市

○中心市街地活性化の取組について



神戸市にて

## 議会改革特別委員

7月16日(水) 市役所

①正副議長に関することについて

②議員定数に関することについて

③次の委員会の開催日について

8月25日(月) 市役所

①正副議長に関することについて

②議員定数に関することについて

③次の委員会の開催日について

9月30日(火) 市役所

①正副議長に関することについて

②議員定数に関することについて

③次の委員会の開催日について

## 表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。  
※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
- ◎締め切り 締め切りは令和8年1月9日(金)です。
- ◎掲載時期 令和8年3月発行予定の第85号

【詳しくはホームページ、または議会事務局へ】

## 委員会行政視察

### 総務常任委員会

8月18日(月)～20日(水)

①島根県出雲市

○出雲の「いいね!」発信事業について

○縁結びデジタルプロモーション事業について

②香川県高松市

○スマートシティたかまつ推進事業について

## 委員会等活動報告

### ひろさき市議会だより編集特別委員会

7月25日(金) 市役所

①掲載内容について

10月2日(木) 市役所

①掲載内容について ②編集日程について

### 厚生常任委員会

8月18日(月) 市役所

○健康寿命延伸に向けた弘前大学COI-NEXTに関する取組について

### 建設常任委員会

8月27日(水) 土手町周辺

○歩きたくなるまちなか形成事業について



土手町周辺のまち歩きの様子

## 議会を傍聴しませんか

議会(本会議、委員会など)は原則、どなたでも傍聴でき、市役所前川本館4階で受付しております。

開かれた議会を目指し、より傍聴しやすい環境づくりを行うため、弘前市議会は6月に傍聴規則の一部を改正し、体調管理のための水分補給に限り傍聴席へのペットボトル飲料の持ち込みを認めるなどの改正を行いました。

次回定例会日程(予定)

(11月21日(金))	議会運営委員会	会期日程等の協議)
11月28日(金)	開会日(本会議)	開会、会期の決定、提案理由の説明
12月24日(水)	閉会日(本会議)	各委員長の報告、質疑討論、表決、閉会

※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。